

名大病院は、「プライマリ・ケア能力の習得」という研修理念の実現に向けたプログラムを提供しています。また、メディカルxRセンターなどの教育設備を充実させ、初期研修だけでなく、医師の生涯にわたるキャリア形成をサポートしています。

I 名大病院の臨床研修の理念と基本方針

理 念

医師としての人格をかん養し、患者を全人的に診ることができ、プライマリ・ケアに対応できる医師を育成する。

基 本 方 針

- 一. 将来の専攻や進路に関わりなく、チーム医療の実践力等、全ての医師が身につけるべき基本的臨床能力の修得を目標とする。
- 一. 地域の協力施設と密に連携して、その時代の地域社会・患者のニーズに柔軟に対応した研修プログラムを提供する。
- 一. 非入局スーパーローテート研修を原則とする。
- 一. 興味や志向性、将来のキャリアパスなど研修医の個別なニーズに柔軟に対応した研修プログラムを提供する。
- 一. 指導医、看護師およびその他の医療従事者をはじめとする病院職員全員が研修医教育に参加する。

II 名大研修の強み

1 多くのスタッフが研修医を支援

卒後臨床研修・キャリア支援センター所属で各診療科に配属された若手の教員（教育専任教員）が診療の指導を行うほか、事務職員も含めた多くのスタッフが、進路や研修プログラムのアドバイス、研修の悩みやいろいろな相談ごとに対応します。

2 卒後臨床研修・キャリア形成支援センターが研修プログラムを管理：非入局スーパーローテート方式

初期研修医は、医局に入局せず卒後臨床研修・キャリア支援センターの所属で、各科ローテート研修を行います。興味や志向性をもとに柔軟に進路を選択することができます。

3 総合診療能力を養うことができる充実のプログラム内容

総合内科、家庭医療、救急医療、高齢者医療、周術期医療（麻酔科）など総合診療の多彩な専門家が研修医指導を行います。当院の総合診療の専門家は、同時に医学医療教育の専門家でもあります。

4 充実した各分野の専門家

各分野の専門家が多くの大学病院の強みです。日常診療で生じる疑問について直接その分野の専門家にきくことが可能です。

5 研究医を含むさまざまな進路に対応

将来研究医をめざす方には研究をしながらの研修や社会人大学院生になりながらの研修なども選択することができます。その他にも、医療安全や医学教育、リハビリテーションなど様々な進路で活躍できる医師を養成しています。

III 第三者機関による臨床研修評価の認定

名大病院は、2011年に第三者評価機関である卒後臨床研修評価機構（JCEP）から質の高い臨床研修病院として認定を受けました。2019年には更新調査を受審し、研修体制と研修プログラムが引き続き優良であり、臨床研修の質が維持されていると認められ、4年間の更新認定を受けました。



IV メディカルxRセンター

VR技術を中心とした医工/産学連携・教育研究センターです。医学系と情報系が連携した名古屋大学卓越大学院プログラム（CIBoG）の施設の一つでもあります。全体を「ミュージアム」とするコンセプトで整備を進めるとともに、サイバー上にも当センターも構築してデジタルツイン化を進めています。フィジカルなセンターでは、医師、看護師、臨床工学技士など、さまざまな医療職に対して、実技トレーニングのほか医療機器に関する教育が行われていますが、この一部をサイバー空間のセンターで行う試みを始めています。フィジカルなVR診療シミュレータとしては、手術、血管内治療、超音波検査、内視鏡検査などがあり、研修医の皆さんも指導医とともに実技トレーニングに利用できるほか、フィジカル＆サイバーの「ミュージアム」で未知の体験が可能と思います。全国の大学に診療実技のトレーニング施設としてスキルスラボが整備されており、当センターもこの機能を包含していますが、当センターは他のどこにも無い「おもしろい場」を提供しています。



●メディカルxRセンター <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/mxr>

V 全国最大規模の研修病院ネットワーク「名大ネットワーク」

全国最大規模の研修病院ネットワークである名大ネットワークは、学生や研修医のニーズを満たす質の高い臨床研修を実現し、生涯サポートし続けていくため、関連約65病院と定期的に意見交換などを行っています。

●名古屋大学病院・関連病院卒後臨床研修ネットワーク（名大ネットワーク） <https://med.nagoya-u.ac.edu/mnw/>

VI 後期研修・専門医養成

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、「総合医学教育センター」を設置しています。2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、「卒後臨床研修・キャリア形成支援センター」として機能充実を図り、研修サポート体制を拡充しました。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになりました。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研鑽のキャリアパス整備の推進とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言えます。

VII 全国屈指の大学病院

名大病院は、1871年に設置されて以来、医療をリードしてきました。1995年には、厚生労働省から「特定機能病院」として承認され、東海地区の拠点病院として地域の医療に貢献するとともに、全国屈指の大学病院として医療の高度化に日々取り組んでいます。

■病院データ

診療科数	34	病床数	1,080床 (一般1,030+精神50)
年間入院患者数	256,722名	年間外来患者数	517,811名
年間救急車受入数 (うち診療時間外 1,152件)	1,930件	年間救急医療受入患者数	5,858名
年間手術数	8,725件		

※年間データは2021年度の数値

■研修医の処遇・待遇

所 属	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
身 分	医員（研修医）：非常勤
給 与 研 修 手 当	諸手当（研修奨励手当、超過勤務手当等）を含めて月額約35万円程度 休日手当は支給しない。
勤 務 時 間	8時30分～17時15分（休憩時間：60分）※ 週38時間45分勤務。 ただし、ローテーション期間中は始業時間、終業時間に変動あり。
休 暇	年次休暇：一年次10日、二年次11日 その他の休暇：夏季休暇（6日間）、忌引休暇など
日 当 直	ひと月当たり5回程度
社 会 保 険 労 働 保 険	健康保険（国家公務員共済組合）、公的年金（厚生年金） 労働者災害補償保険法の適用 有 国家・地方公務員災害補償法の適用 無 雇用保険 有 医師賠償責任保険の扱い 病院で加入（全員加入）
健 康 管 理	健康診断 年2回実施 各種予防接種 実施
そ の 他	外部の研修活動、学会、研究会等への参加可能 (学会、研究会等への参加費用の一部支給あり) 研修医室：有 研修用宿舎：有 保育施設：有（定員制） ※2年間の初期臨床研修期間中は、アルバイトは禁止とする。